

財政援助団体等監査結果報告
〔財団法人神戸市公園緑化協会〕

神戸市監査委員	近	谷	衛	一
同	横	山	道	弘
同	吉	田	基	毅
同	米	田	和	哲

地方自治法第199条第7項の規定に基づき実施した平成17年度財政援助団体等監査について、同条第9項の規定によりその結果に関する報告を次のとおり決定した。

1 監査の対象

財団法人神戸市公園緑化協会（以下「協会」という。）における出納その他の事務で、主として平成16年度執行の事務

2 監査の期間

平成17年9月28日～平成18年2月9日

3 監査の方法

監査は、出納その他の事務が法令等に基づき適正に行われているかについて、関係書類の調査とともに、関係職員に対する質問等の方法により実施した。

4 団体の概要

(1) 設立の趣旨

協会は、神戸市の公園緑地事業の発展振興を図り、あわせて、市民の保健、慰楽及び教育文化の向上に寄与することを目的として、昭和38年に任意団体として発足し、昭和43年4月に財団法人の許可を受けた。なお、平成8年4月に財団法人神戸王子動物園協会と統合している。

(2) 本市との関係

協会の基本財産は2,400万円であり、神戸市(以下「本市」という。)は、1,200万円(出えん率50.0%)を出えんしている。

平成16年度は、補助金として、公園緑地事業に係る派遣職員分の人件費として6億5,548万円を交付している。また、公の施設の管理委託業務として、10億4,463万円支出しているが、その主な内訳は、有料公園等管理運営業務に7億8,995万円、都市公園等維持管理業務に2億5,467万円である。このほか、王子動物園入園料等使用料徴収業務等を委託しており、公の施設の管理委託を含む委託料全体としては、14億6,020万円支出している。

平成16年度末における職員数は202人であり、そのうち本市派遣職員は83人である。

(3) 事業の概要

協会の所在地は、第1表のとおりである。

第 1 表 協 会 の 所 在 地

事 業 所	所 在 地
協 会 (事 務 所)	須磨区緑台(神戸総合運動公園管理センター2階)
動 物 園 事 業 部	灘区王子町3丁目1-1
相 楽 園	中央区中山手通5丁目3-1
花と緑のまち推進センター	中央区諏訪山町2-8
須 磨 離 宮 公 園	須磨区東須磨1-1
森 林 植 物 園	北区山田町上谷上字長尾1-2
布 引 公 園 (ハ ー プ 園)	中央区葺合町字山郡
北 神 戸 田 園 ス ポ ー ツ 公 園	北区有野町二郎
神 戸 総 合 運 動 公 園 事 業 部	須磨区緑台

主な事業及び業務量の推移は、第2表のとおりである。

緑化事業の啓発

市民との協働による花と緑のまちづくりを総合的に推進する拠点として、花と緑のまち推進センターを中心にして、緑化助成事業、「花のフェスタこうべ」、「グリーンフェスタこうべ」の緑化啓発イベントの開催、21世紀・復興記念事業の理念を継承して市街地の飾花を強化する「花の回廊」づくりの実施等、花と緑に囲まれた「美しいまち」づくりを目指した事業を行っている。

第 2 表 業 務 量 の 比 較

項 目		平成16年度	平成15年度	対前年度 増 減	対前年度 増 減 率	
緑 化 事 業 の 啓 発	生垣等緑化助成 生垣化助成	助 成 件 数	19件	21件	2件	9.5
	ベランダ飾花助成	助 成 団 体 数	2団体	3団体	1団体	33.3
	まちなみ飾花助成	助 成 団 体 数	7団体	9団体	2団体	22.2
	花のフェスタこうへの開催	入 場 者 数	51,000人	65,000人	14,000人	21.5
	グリーンフェスタこうへの開催	入 場 者 数	雨天中止	41,000人	41,000人	皆減
公園施設等の管理運営						
相 楽 園	庭園、会館の管理運営 1.8ha	入 園 者 数	74,354人	86,435人	12,081人	14.0
都 市 公 園	都市基幹公園等の維持管理		9か所	9か所	0か所	0.0
運 動 施 設	テニスコート 6ヶ所	利 用 単 位 数	41,527単位	40,258単位	1,269単位	3.2
	野球場 10ヶ所	利 用 単 位 数	7,806単位	7,685単位	121単位	1.6
	球技場 5ヶ所	利 用 単 位 数	4,305単位	4,032単位	273単位	6.8
花 と 緑 の ま ち 推 進 セ ン タ ー	花壇管理 花のプロムナード花壇	箇 所 数	32か所	32か所	0か所	0.0
	ふれあい花壇	箇 所 数	11か所	11か所	0か所	0.0
	フラワーほっと花壇	箇 所 数	12か所	12か所	0か所	0.0
	緑花相談業務	相 談 件 数	6,801件	7,069件	268件	3.8
	ガーデニング教室の開催	受 講 者 数	1,897人	2,002人	105人	5.2
須 磨 離 宮 公 園	公園の管理運営 82.6ha	入 園 者 数	234,427人	237,749人	3,322人	1.4
	駐車場使用料徴収業務	駐 車 場 利 用 台 数	28,128台	28,519台	391台	1.4
森 林 植 物 園	植物園の管理運営 142.6ha	入 園 者 数	220,168人	232,936人	12,768人	5.5
布 引 ハ ー プ 園	公園の管理運営 16.0ha	入 園 者 数	379,991人	429,942人	49,951人	11.6
北 神 戸 田 園	あじさいスタジアムの管理運営	利 用 単 位 数	853単位	786単位	67単位	8.5
ス ポ ー ツ 公 園	体育館	利 用 単 位 数	10,025単位	10,922単位	897単位	8.2
	動物園事業	入園料徴収業務	入 園 者 数	1,303,576人	1,288,890人	14,686人
	駐車場使用料徴収業務	駐 車 場 利 用 台 数	157,386台	151,265台	6,121台	4.0
	動物科学資料館の運営管理	入 館 者 数	455,616人	465,514人	9,898人	2.1
		図 書 室 利 用 者 数	1,946人	2,208人	262人	11.9
	動物とこどもの国ふれあい業務	利 用 者 数	159,982人	156,817人	3,165人	2.0
	子ども動物相談及びテレホンサービス業務	総 相 談 件 数	11,828件	16,443件	4,615件	28.1
神 戸 総 合 運 動 公 園	ユニバー記念競技場	利 用 日 数	96日	82日	14日	17.1
	グリーンアリーナ神戸	利 用 日 数	259日	288日	29日	10.1
	テニスコート	利 用 単 位 数	12,606単位	12,935単位	329単位	2.5
附 帯 事 業 の 経 営						
駐 車 場 事 業	駐車場の経営 神戸総合運動公園	駐 車 場 利 用 台 数	544,812台	539,081台	5,731台	1.1
	海浜公園	駐 車 場 利 用 台 数	286,186台	276,768台	9,418台	3.4
	須磨浦公園	駐 車 場 利 用 台 数	52,998台	58,869台	5,871台	10.0
飲 食 店 等 経 営 事 業	レストラン、軽食喫茶、売店・コンビニ	店 舗 数	26店	25店	1店	4.0

公園施設等の管理運営

ア 公園緑地課

相楽園の管理運営をはじめ、海浜公園、須磨浦公園、垂水健康公園、アジュール舞子など都市基幹公園等の維持管理や運動施設の維持管理、施設点検、ユーカリ栽培そして動物園や神戸市看護大学等の植栽管理など様々な事業を行っている。また、相楽園のライトアップとコンサート等市民と協働でイベントを実施している。

イ 花と緑のまち推進センター

市民との協働による花と緑のまちづくりを目指し、花のプロムナード花壇等の花壇管理、市民花壇コンクール、緑花相談業務、講習会やガーデニング教室、緑花リーダー等ボランティア人材育成事業を実施している。

ウ 須磨離宮公園

自然と調和した欧風庭園として公園の魅力となっている噴水のダイナミックな動きや、四季それぞれの花や緑の変化を楽しんでいただけるよう園地管理を行うとともに、季節にあったイベントを実施している。

エ 森林植物園

樹林を見せる植物園として、六甲山をはじめ国内の代表的な樹木や世界各地の樹木の育成を行うとともに、「あじさい散策」をはじめとする各種のイベントや観察会を開催して、市民が森とともに楽しめるレクリエーションの場を提供している。

オ 布引ハーブ園

生活に役立つ香りの植物「ハーブ」をテーマに、屋内展示や園地管理のほか、コンサートや様々な形でのハーブの利用体験・講座を開催するとともに、季節に応じた各種のイベントを実施している。

カ 北神戸田園スポーツ公園

スポーツ・レクリエーションの北神地域の拠点として、あじさいスタジアム北神戸、体育館、スポーツ広場等を管理運営するとともに、園内に残された棚田を活用した農業体験「米づくり隊」を実施している。

キ 動物園事業部

神戸市立王子動物園入園料、動物園ホールの使用料及び王子公園駐車場駐車料金徴収業務等を行っているほか、夜桜の通り抜け等の本市の動物園事業のイベントへの協力等も行っている。

ク 神戸総合運動公園

神戸総合運動公園内のユニバー記念競技場・補助競技場、グリーンアリーナ神戸、球技場、多目的広場、テニスコートの管理運営を行っている。また、ボランティアとの協働による「コスモスマつり」等を実施している。

附帯事業の経営

公園利用者のための利便施設として、駐車場、レストラン、喫茶店、売店等の経営をはじめ、動物園の遊具・ベビーカーの貸出、市民農園の運営管理、テニススクールやトレーニングセンターの運営等各種の自主事業を実施している。

(4) 経営状況と財産状況

協会の会計は、企業会計方式を適用しており、消費税処理は税抜処理である。

収支状況

収支状況は、第3表のとおりである。

当期収益合計33億2,759万円に対し、当期費用合計33億1,771万円で、税引前当期利益は987万円となっている。前年度に比べると収益が6,888万円(2.0%)減少し、費用が7,064万円(2.1%)減少した結果、税引前当期利益は176万円増加している。これに法人税等充当額を差し引いた当期利益は372万円であり、さらに前期繰越利益を加えた当期末処分利益は、1,939万円となっている。

なお、平成18年度より、須磨離宮公園、森林植物園、布引ハーブ園、相樂園、北神戸田園スポーツ公園等の公の施設が指定管理者制度に移行することから、各事業の収支状況が明確になるよう平成16年度より損益計算書の科目の組替えを行っている。

「その他有料公園等管理業務」を「相樂園管理運営業務」及び総合運動公園・北神戸田園スポーツ公園以外の運動施設を対象とした「運動施設維持管理業務」に明確に区分した。そのため、業務の内容の変更はないものの、損益計算書上、前年度に比べ「その他有料公園等管理業務」は皆減、「相樂園管理運営業務」及び「運動施設維持管理業務」については皆増となっている。

ア 収入

緑化啓発等事業収入は、市民との協働の飾花事業に係る21世紀・復興記念継承事業助成金及び本市からの緑化啓発イベント開催負担金等であり、4,245万円で、前年度に比べ822万円(24.0%)増加している。これは、以前は受託料として収入していた緑化啓発イベント開催に係る経費が、平成16年度より負担金収入に変更になったことによる。

受託収入は公園施設等管理運営事業収入であり、15億3,780万円で、本市からの委託料の削減により、前年度に比べ4,371万円(2.8%)減少している。

補助金収入は、本市からの派遣職員の人件費であり、6億5,548万円で、派遣職員数の減少により、前年度に比べ1,377万円(2.1%)減少している。

附帯事業収入は自主事業である駐車場事業収入及び飲食店等事業収入等であり、10億7,946万円で、前年度に比べ987万円(0.9%)減少している。

事業外収入は、退職給与引当金取崩収入等であり、1,237万円で、賞与引当金の取崩の廃止等により、973万円(44.0%)減少している。

第 3 表 比較損益計算書（収益の部）

（単位 金額：千円）

科 目	平成 16 年度		平成 15 年度		対前年度 増 減	対前年度 増 減 率
	金 額	構 成 比 率	金 額	構 成 比 率		
事業収入	3,315,212	99.6	3,374,353	99.3	59,141	1.8
緑化啓発等事業収入	42,459	1.3	34,238	1.0	8,221	24.0
受託収入	1,537,805	46.2	1,581,523	46.6	43,718	2.8
公園施設等管理運営事業収入	1,537,805	46.2	1,581,523	46.6	43,718	2.8
有料公園等管理運営業務収入	849,653	25.5	992,730	29.2	143,077	14.4
須磨離宮公園管理運営業務収入	111,415	3.3	114,733	3.4	3,318	2.9
森林植物園管理運営業務収入	87,130	2.6	90,215	2.7	3,085	3.4
布引ハーブ園管理運営業務収入	171,062	5.1	183,426	5.4	12,364	6.7
相楽園管理運営業務収入	17,463	0.5	-	-	17,463	皆増
北神戸田園スポーツ公園管理運営業務収入	84,080	2.5	90,133	2.7	6,053	6.7
総合運動公園管理運営業務収入	378,503	11.4	395,401	11.6	16,898	4.3
その他有料公園等管理業務収入	-	-	118,823	3.5	118,823	皆減
都市公園等維持管理業務収入	481,487	14.5	321,609	9.5	159,878	49.7
一般公園維持管理業務収入	160,329	4.8	150,232	4.4	10,097	6.7
運動施設維持管理業務収入	97,244	2.9	-	-	97,244	皆増
花と緑のまち推進センター業務収入	202,816	6.1	146,857	4.3	55,959	38.1
その他都市公園等維持管理業務収入	21,099	0.6	24,520	0.7	3,421	14.0
その他公園施設等維持管理業務収入	206,664	6.2	267,183	7.9	60,519	22.7
動物園料金徴収等業務収入	94,970	2.9	95,997	2.8	1,027	1.1
動物園ユーカーリ栽培業務収入	52,924	1.6	51,741	1.5	1,183	2.3
相楽園会館維持管理業務収入	39,255	1.2	37,596	1.1	1,659	4.4
その他公園施設等維持管理業務収入	19,515	0.6	81,849	2.4	62,334	76.2
補助金収入	655,486	19.7	669,258	19.7	13,772	2.1
公園施設等管理運営事業収入	655,486	19.7	669,258	19.7	13,772	2.1
有料公園等管理運営業務収入	547,918	16.5	580,862	17.1	32,944	5.7
須磨離宮公園管理運営業務収入	100,023	3.0	98,109	2.9	1,914	2.0
森林植物園管理運営業務収入	132,982	4.0	129,338	3.8	3,644	2.8
布引ハーブ園管理運営業務収入	77,594	2.3	82,905	2.4	5,311	6.4
北神戸田園スポーツ公園管理運営業務収入	23,161	0.7	21,681	0.6	1,480	6.8
総合運動公園管理運営業務収入	214,158	6.4	248,829	7.3	34,671	13.9
都市公園等維持管理業務収入	107,568	3.2	88,396	2.6	19,172	21.7
一般公園維持管理業務収入	17,491	0.5	17,240	0.5	251	1.5
花と緑のまち推進センター業務収入	90,076	2.7	71,155	2.1	18,921	26.6
附帯事業収入	1,079,462	32.4	1,089,334	32.1	9,872	0.9
駐車場事業収入	702,721	21.1	700,868	20.6	1,853	0.3
飲食店等事業収入	170,330	5.1	170,037	5.0	293	0.2
その他事業収入	206,411	6.2	218,429	6.4	12,018	5.5
事業外収入	12,378	0.4	22,117	0.7	9,739	44.0
その他収入	12,378	0.4	22,117	0.7	9,739	44.0
当期収益合計(A)	3,327,590	100.0	3,396,470	100.0	68,880	2.0

（注）金額は、千円未満を四捨五入している。

イ 支出

緑化啓発等事業費は、飾花事業及び緑化啓発イベント開催等に係る経費であり、7,520万円で、前年度に比べ620万円（9.0%）増加している。

公園施設等管理運営事業費は、24億528万円であり、本市からの委託料及び補助金の削減に伴い、前年度に比べ8,511万円（3.4%）減少している。

附帯事業費は、6億5,717万円で、駐車場施設の補修等があったことにより、前年度に比べ2,993万円（4.8%）増加している。

一般管理費は、総務部門に係る経費で、1億7,933万円であり、退職金支給額の減少等により、前年度に比べ2,236万円（11.1%）減少している。

第 3 表 比較損益計算書（費用の部他）

（単位 金額：千円）

科 目	平成 16 年度		平成 15 年度		対前年度 増 減	対前年度 増 減 率
	金 額	構 成 比 率	金 額	構 成 比 率		
事業費用	3,317,005	100.0	3,388,354	100.0	71,349	2.1
緑化啓発等事業費	75,205	2.3	69,004	2.0	6,201	9.0
公園施設等管理運営事業費	2,405,288	72.5	2,490,406	73.5	85,118	3.4
有料公園等管理運営業務費	1,545,030	46.6	1,753,469	51.7	208,439	11.9
須磨離宮公園管理運営業務費	245,641	7.4	256,859	7.6	11,218	4.4
森林植物園管理運営業務費	237,024	7.1	232,721	6.9	4,303	1.8
布引ハーブ園管理運営業務費	262,125	7.9	272,581	8.0	10,456	3.8
相楽園管理運営業務費	36,423	1.1	-	-	36,423	皆増
北神戸田園スポーツ公園管理運営業務費	151,833	4.6	155,887	4.6	4,054	2.6
総合運動公園管理運営業務費	611,984	18.4	704,158	20.8	92,174	13.1
その他有料公園等管理業務費	-	-	131,263	3.9	131,263	皆減
都市公園等維持管理業務費	648,452	19.5	464,198	13.7	184,254	39.7
一般公園維持管理業務費	222,735	6.7	212,532	6.3	10,203	4.8
運動施設維持管理業務費	98,796	3.0	-	-	98,796	皆増
花と緑のまち推進センター業務費	304,176	9.2	225,260	6.6	78,916	35.0
その他都市公園等維持管理業務費	22,745	0.7	26,406	0.8	3,661	13.9
その他公園施設等維持管理業務費	211,806	6.4	272,739	8.0	60,933	22.3
動物園料金徴収等業務費	95,260	2.9	96,391	2.8	1,131	1.2
動物園ユークリ栽培業務費	54,314	1.6	53,194	1.6	1,120	2.1
相楽園会館維持管理業務費	39,543	1.2	37,625	1.1	1,918	5.1
その他公園施設等維持管理業務費	22,689	0.7	85,527	2.5	62,838	73.5
附帯事業費	657,179	19.8	627,243	18.5	29,936	4.8
駐車場事業費	408,925	12.3	376,443	11.1	32,482	8.6
飲食店等事業費	103,881	3.1	101,937	3.0	1,944	1.9
その他事業費	144,373	4.4	148,862	4.4	4,489	3.0
一般管理費	179,333	5.4	201,702	6.0	22,369	11.1
人物件費	137,777	4.2	161,461	4.8	23,684	14.7
物物件費	41,238	1.2	39,821	1.2	1,417	3.6
減価償却費	318	0.0	420	0.0	102	24.3
事業外費用	707	0.0	-	-	707	皆増
その他費用	707	0.0	-	-	707	皆増
当期費用合計(B)	3,317,712	100.0	3,388,354	100.0	70,642	2.1
税引前当期利益(C=A-B)	9,878	-	8,115	-	1,763	-
法人税等充当額(D)	6,152	-	3,676	-	2,476	-
当期利益(E=C-D)	3,726	-	4,439	-	713	-
前期繰越利益(F)	15,667	-	11,228	-	4,439	-
当期末処分利益(G=E+F)	19,393	-	15,667	-	3,726	-

（注）金額は、千円未満を四捨五入している。

財政状態

財政状態及びその推移は、第4表のとおりである。

ア 資産

資産総額は9億66万円で、前年度末に比べ1億8,550万円（17.1%）減少している。

流動資産は8億2,284万円で、未払費用の減少に伴い預貯金が減少したこと等により、前年度末に比べ1億7,663万円（17.7%）減少している。

固定資産は7,781万円で、主な内訳は、須磨浦立体駐車場3,017万円、神戸総合

運動公園内コンビニ建物2,426万円及び須磨レストハウス建物598万円である。コンビニ建物の建設等により、前年度末に比べ2,418万円(45.1%)増加している。

繰延資産は、神戸総合運動公園の立体駐車場に係る工事を平成15年度に資産計上していたものであるが、会計処理の変更により資産計上から費用執行に変更したため、皆減となっている。

第4表 比較貸借対照表

(単位 金額：千円)

科 目	平成16年度末		平成15年度末		対前年度増減	対前年度増減率
	金額	構成比率	金額	構成比率		
資 産	900,660	100.0	1,086,169	100.0	185,509	17.1
流 動 資 産	822,849	91.4	999,482	92.0	176,633	17.7
1 現 金	55,136	6.1	48,181	4.4	6,955	14.4
2 預 貯 金	588,167	65.3	806,823	74.3	218,656	27.1
3 売 掛 金	12,747	1.4	14,332	1.3	1,585	11.1
4 未 収 入 金	139,570	15.5	109,547	10.1	30,023	27.4
5 立 替 金	2,969	0.3	1,894	0.2	1,075	56.8
6 前 払 費 用	11,974	1.3	4,395	0.4	7,579	172.4
7 商 品	12,286	1.4	14,309	1.3	2,023	14.1
固 定 資 産	77,811	8.6	53,629	4.9	24,182	45.1
1 有 形 固 定 資 産	72,441	8.0	48,455	4.5	23,986	49.5
(1) 建 物	62,679	7.0	40,214	3.7	22,465	55.9
(2) 設 備	6,571	0.7	3,635	0.3	2,936	80.8
(3) 車 両 運 搬 具	57	0.0	57	0.0	0	0.0
(4) 器 具 備 品	3,133	0.3	4,549	0.4	1,416	31.1
2 無 形 固 定 資 産	173	0.0	173	0.0	0	0.0
(1) 電 話 加 入 権	173	0.0	173	0.0	0	0.0
3 投 資 等	5,197	0.6	5,000	0.5	197	3.9
(1) 有 価 証 券	5,000	0.6	5,000	0.5	0	0.0
(2) 差 入 保 証 金	197	0.0	-	-	197	皆増
繰 延 資 産	-	-	33,059	3.0	33,059	皆減
1 繰 延 資 産	-	-	33,059	3.0	33,059	皆減
負 債 及 び 正 味 財 産	900,660	100.0	1,086,169	100.0	185,509	17.1
負 債	742,022	82.4	931,257	85.7	189,235	20.3
流 動 負 債	671,465	74.6	864,377	79.6	192,912	22.3
1 未 払 費 用	556,066	61.7	756,071	69.6	200,005	26.5
2 未 納 消 費 税	9,095	1.0	4,528	0.4	4,567	100.9
3 預 り 金	96,668	10.7	97,477	9.0	809	0.8
4 前 受 金	3,484	0.4	2,624	0.2	860	32.8
5 納 税 充 当 金	6,152	0.7	3,676	0.3	2,476	67.4
固 定 負 債	70,557	7.8	66,880	6.2	3,677	5.5
1 預 り 保 証 金	38,200	4.2	29,900	2.8	8,300	27.8
2 退 職 給 与 引 当 金	32,357	3.6	36,980	3.4	4,623	12.5
正 味 財 産	158,638	17.6	154,912	14.3	3,726	2.4
正 味 財 産	158,638	17.6	154,912	14.3	3,726	2.4
1 基 本 金	24,000	2.7	24,000	2.2	0	0.0
2 別 途 積 立 金	115,245	12.8	115,245	10.6	0	0.0
3 当 期 未 処 分 利 益	19,393	2.2	15,667	1.4	3,726	23.8
(うち当期純利益)	(3,726)	0.4	(4,439)	0.4	713	-

(注) 金額は、千円未満を四捨五入している。

イ 負債

負債総額は7億4,202万円で、前年度末に比べ1億8,923万円(20.3%)減少している。

流動負債は6億7,146万円で、早期の支払を徹底し、未払費用を減少させたことにより、前年度末に比べ1億9,291万円(22.3%)減少している。

固定負債は7,055万円で、飲食店・コンビニ等運営事業者からの預り保証金等であり、前年度末に比べ367万円(5.5%)増加している。

ウ 正味財産

正味財産総額は1億5,863万円で、前年度末に比べ372万円(2.4%)増加している。

別途積立金は1億1,524万円で、過去から未処分利益を積み立ててきたものであり、前年度末と同額となっている。

5 監査の結果

経営状況は、本市からの委託料が削減される中であっても、安定した附帯事業の収入を確保するなどして、収支はおおむね安定している。

事業面では、緑化推進事業、緑化啓発イベントの開催や有料公園駐車場等の附帯事業を行うなど、設立の目的に沿って運営され、その目的を果たしているものと認められた。

補助事業については、補助金の交付目的を達成し、公の施設の管理運営については、条例等に従って適切に管理運営されていた。

協会の出納その他の事務については、おおむね適正に行われているものと認められたが、事務の一部について、次のような改善を要する事例が見受けられたので、今後適正な事務処理に努められたい。

(1) 会計処理に関する事務について

過年度分の駐車券売上など年度末時点で把握可能な債権であるにもかかわらず、未収金計上せず、翌年度に雑収入(過年度収入)としている事例が見受けられた。

(北神戸田園スポーツ公園、花と緑のまち推進センター)

年度末の未収金の把握を徹底するべきである。

(2) 財産管理事務について

小口現金の処理にあたり、内容の異なる領収書、金額表示のみで明細のない領収書が添付されている事例が見受けられた。

(北神戸田園スポーツ公園)

正しく明細(使用内容)のわかる領収書の交付を求めるべきである。

(3) その他の事務について

協会が作成した書籍の販売にあたり、領収書が発行されていない事例が見受けられた。

(花と緑のまち推進センター)

適正な事務処理を行なうべきである。

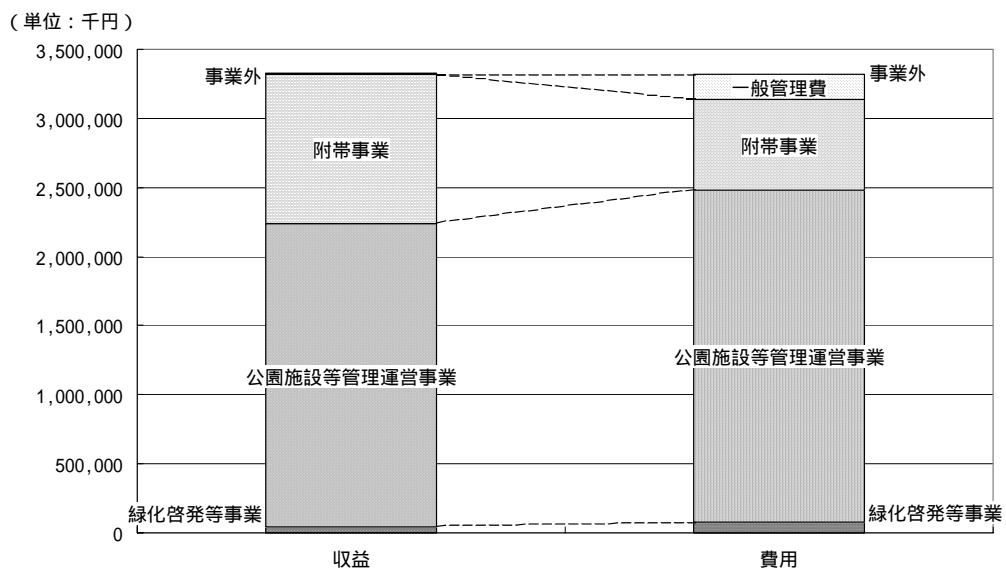
コピーサービス等を実施しながら、受付簿もなく、領収書も希望者のみに発行している事例が見受けられた。

(北神戸田園スポーツ公園)

適正な事務処理を行なうべきである。

以上、監査の結果を述べたが、経営面では、協会の事業は大きく公園施設等管理運営事業と附帯事業(自主事業)に二分され、附帯事業収益で公園施設等管理運営事業費の不足分と一般管理費(本部経費)を補填する形となっており、結果372万円の当期利益を計上している(図1参照)。

図 1 事業別収益・費用比較



なお、指定管理者制度導入に向けて、平成16年度からは事業ごとの区分経理を徹底するように改めていっているが、さらに各事業の共通経費として区分している一般管理費を、各事業ごとに配分することが必要であると考えます。

協会は、本市からの有料公園等の施設の管理受託を行うほか、あわせて緑化啓発や駐車場等の附帯事業などの自主事業を行うことで、本市の公園緑地事業の一翼を担い、公益法人としての使命を果たしてきた。

平成18年度からは、協会が指定管理者とならない施設も予定されているが、協会は公の施設の管理運営にあたって、地域住民の活動を支援するなどの取組みも行ってきた。新たな管理者

となる民間団体によっても、引続き地域への支援活動が継続して行われるよう、協会において十分な事務の引継ぎを行うとともに、行政においても十分配慮されるよう努められたい。

協会にあっては、今後とも本市の公園緑地事業に協力し、公共的、文化的な公園施設の整備充実に努めるとともに、市民との協働による緑化事業の普及啓発に寄与されるよう希望する。

凡 例

- 1 文中で用いる金額は、原則として千円の位以下を省略し、万円単位で表示している。
- 2 各表中の金額は、原則として百円の位を四捨五入し、千円単位で表示している。したがって合計と内訳の計が一致しない場合がある。
- 3 各表中の比率は、百分率で表示し、小数点以下第2位を四捨五入している。したがって合計と内訳の計が一致しない場合がある。
- 4 各表中の符号の用法は、次のとおりである。
 - 「0」及び「0.0」----- 該当数値はあるが、単位未満のもの。
対前年増減額及び率の場合は、零を含む。
 - 「-」----- 該当数値なし、算出不能又は無意味のもの。
 - 「ほぼ皆増」----- 増加率が1,000%以上のもの。
- 5 文中及び各表中でいう消費税とは「消費税」および「地方消費税」をいう。